

「ヒマラヤ—変わり行く景観」写真展のご案内

暑い毎日ですが、お変わりありませんか？

突然ですが、表題の写真展を下記の通りささやかながら行いますのでご案内いたします。

この写真展は、山岳環境 NPO の HAT-J において私が 3 年にわたり実現に努力してきた企画で、おもにエベレスト周辺において同じ場所の 1950 年代と 2000 年代の写真を比較し、地球温暖化の影響や 50 年間の自然や人々の暮らしの変わりようを訴えています。写真約 50 枚を 13 枚のパネルで展示します。

開催期間は 7 月 26~27 日(9 : 30~17 : 00)

場所は横浜・みなとみらい パシフィコ横浜国際会議場 501 室

(環境問題に関する国際フォーラム「ISAP2011」の中で)

入場料は無料です。当日受付で登録すると入場できます。

お会いできれば幸いです。ぜひお越しください。

野田憲一郎 (日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト)

住所 227-0051 横浜市青葉区千草台 29—34

電話 080-5443-9123 メール k-i-noda@u07.itscom.net

「ヒマラヤ—変わり行く景観」写真展について

ICIMOD(国際山岳地総合開発センター)

変わり行く景観

ヒマラヤでは気候変動のインパクトが特に自然災害の頻度と甚大さの増大の形で明瞭に見られる。山岳地帯の気候は複雑なためいろいろな予測がされているが、小さな気候変動でも大きな結果につながりやすい。人間の引き起こした気候変動の進行で地球規模の影響が発生しており、ヒマラヤでの出来事は全人類にとっての問題である。

ヒマラヤの住民の環境、生命、生活が脅かされている。ICIMOD はこの重大な問題に対する関心を呼び起こすため、「ヒマラヤ—変わり行く景観」写真展を主催する。

ヒンズークシュ—ヒマラヤ地帯は、西はアフガニスタンから東はミャンマーまで 8 カ国、3500 キロにわたっている。この地帯は 3700 平方キロ以上の永久氷雪地域を含んでいる。この地域が地球の「第三の極」と呼ばれるのは、この地域の近寄りたさと氷雪の形で存在する大量の水のためである。この地域はアジアの「水の塔」とも呼ばれるが、それはここが九つの大河の源であり、約 1 億 5 千万人の人々の水と生活を支えているからである。これらの大河の流域ではさらに 13 億の住民が水の恩恵を受けているがこれは世界総人口の五分之一にあたる。

これらの山々には変化に対する順応力、回復力が地域の住民と周辺の景観からわかるような場所が必ずある。はるかな昔から、ヒマラヤの人々は独自の慣習を守り、豊かな固有文化、安全な食の確保、多様な生物相を維持してきた。

工業大国では気候変動についていろいろに議論されているが、遠く離れたヒマラヤで重大な問題が起きている。ヒマラヤの住民は地球温暖化にはほとんど手を貸してはいないが、温暖化の影響は山岳地域

のコミュニティーと脆弱な山岳のエコシステムに影響を与えている。

歴史的な写真

1950~60年代に、オーストリアとスイスの科学者がネパールのエベレスト地区の集中的な研究を行った。このチームによってクーンブ地区の氷河、山岳、谷が詳細に撮影、測量された。ほぼ同じ時期に、スイスの氷河学者フリッツ・ミュラーが8ヶ月をかけてクーンブ地区の5000メートル以上の地点で偉大なヒマラヤの氷河を研究、撮影した。

それから50年を経た現在、これらの登山者、科学者の撮影した何百枚もの写真は、世界で最高の山脈であるヒマラヤに気候変動が及ぼした影響を理解するうえで非常に価値を持っている。

山岳地理学者のアルトン・バイヤーズは元の写真の撮られた場所を何箇所も訪れ、同じ所の写真を撮った。これらはクーンブ地区の気候、文化、自然景観のここ50年に起きた変化を雄弁に表現している。

そうして過去と現在のパノラマ写真はユニークな写真展：「ヒマラヤ——変わり行く景観」としてまとめられた。この写真展はヒマラヤの山岳と住民のための研究教育センターであるICIMODの25周年記念行事の一環として実施された。

写真展のねらい

この写真展ではいかに気候変動と氷河の融解がヒマラヤや周辺地域に影響しているかを衝撃的な映像で見えていただく。それを通してこの重大な事柄への注意を喚起し、同時にいかに山岳の住民が気候変動の衝撃に適応し、回復力を強める力を発揮しているかを知らせたい。

山々と氷河の比較パノラマ写真にはクーンブ地区の住民——シェルパの写真も入っている。この写真展では同時にシェルパ族の人々がいかにしてこの変化に対応したかを簡潔に説明し、過去五十年の間に移り変わった人間の風景も取り上げている。

「事前事後」写真によってこの偉大ではあるが脆弱な景観がわずか数十年でどんなに変わってしまったかがわかる。この写真の多くは独自のもので、地球温暖化の結果、氷河と氷河湖が変化した様子を現実の証拠で示している。

この写真展はアメリカ山岳会と山岳研究所との共同制作で実現した。そうして特別なかたちでエベレストのベースキャンプで初めて公開された。これは世界最高所での写真展である。

ICIMODはヒンズクシュ・ヒマラヤ地方の8カ国と世界の山岳社会に貢献するための独立研究教育センターである。ICIMODは創立1983年、本部はネパール・カトマンズにある。ICIMODは山岳の住民と環境の改善責任を果たすためこの地域の国々、協力機関、支援者の連携のまとめ役になっている。

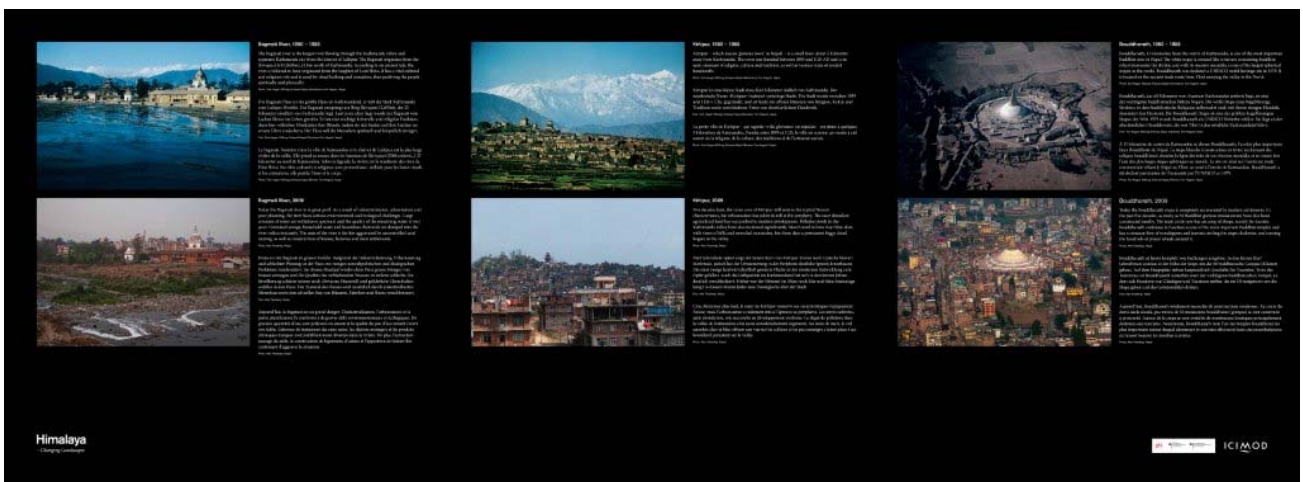
ICIMODは将来、山岳地住民の生活の安定と社会的、環境的な安全が保障され、次世代がこの地域の自然の恩恵と機会に恵まれることを信じている。

翻訳：野田憲一郎

(ICIMODの参加国：アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、中国、インド、ミャンマー、ネパール、パキスタン)



サンプル写真-1



サンプル写真-2